

令和5年度技術・家庭科 《第3学年技術分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	評価資料
4	ガイダンス	技術と生活、環境との関わりを考えさせる。	① 技術と私たちの生活や環境との関わり	主体的に学習に取り組む態度 技術と生活の関係に気づき技術に役割に関心を示している。	
5 6 7	情報の技術	コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。 メディアの特徴と利用方法を知り、製作品の設計ができる デジタル作品の設計と制作を行う。	① 情報と私たちの生活 ② コンピュータと情報処理 ③ 情報通信ネットワークの利用 ④ ネットワークと情報セキュリティ ⑤ 情報モラルと知的財産 ⑥ デジタル作品の設計と製作	主体的に学習に取り組む態度 デジタル情報を活用する際に、著作権等の権利を意識している。 情報の技術を適切に活用しようとしている。 積極的に表現させたいことを反映させている。 思考・判断・表現 目的に応じたデジタル作品の設計を工夫している。 知識・技能 適切な文字入力ができる。 要求された内容を文章にまとめ、ファイルとして保存し、印刷することができる。 目的や条件に応じて、情報手段を適切に選択し、活用できている。 多様なメディアの複合、表現や発信ができています。 コンピュータにおける基本的な情報通信ネットワークにおける安全な情報利用、メディアの特徴と利用方法、コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについて知識を身に付けている。 情報の技術と、社会や環境とのかわりについて理解している。	授業中の発言 生徒の活動状況 提出物 テスト

9 10 11 12 1	情報の技術	<p>「ライフステックレッスンを使ったプログラミング」</p> <p>情報の技術とその役割を理解する。</p> <p>情報通信ネットワークの利用をする。</p> <p>情報モラルについて熟知する。</p> <p>ネットワークの安全性を理解する。</p> <p>プログラムによる計測・制御を行う。</p> <p>デジタル作品の設計と制作を行う。</p>	<p>①文章作成における基礎技能及び入力技術を習得する。</p> <p>②ネットワーク上におけるモラルについて学び、安全に利用する手法を習得する。</p> <p>③インターネットなどの情報通信ネットワークの基本的な構成を調べる。</p> <p>④計測・制御システムの構成を習得する。</p> <p>⑤プログラムとフローチャートを理解し活用出来る。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>情報の技術について関心をもっている。デジタル情報を活用する際に、著作権等の権利を意識している。</p> <p>情報の技術を適切に活用しようとしている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>積極的に表現させたいことを反映させている。</p> <p>デジタル作品の設計を工夫している。</p> <p>知識・技能</p> <p>要求された内容を文章にまとめ、ファイルとして保存し、印刷することができる。</p> <p>目的や条件に応じて、情報手段を適切に選択し、活用できている。</p> <p>多様なメディアの複合、表現や発信ができています。</p> <p>フローチャートで目的に合わせたプログラムの設計をする。</p> <p>コンピュータにおける基本的な情報通信ネットワークにおける安全な情報利用、メディアの特徴と利用方法、コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについて知識を身に付けている。</p> <p>情報の技術と、社会や環境とのかかわりについて理解している。</p>	<p>授業中の発言</p> <p>生徒の活動状況</p> <p>提出物</p> <p>実技テスト</p> <p>定期テスト</p>
2 3	情報の技術	<p>情報に関する評価・活用ができる。</p>	<p>製作のまとめ</p> <p>情報の技術の振り返り</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>情報の技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を示そうとしている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>情報の技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするともに適切な解決策を見出している。</p>	<p>プリント点検</p> <p>発表</p>